

R3年度 事業名	スポーツ推進委員活動事業
R2年度 事業名	スポーツ推進委員活動事業

総合戦略 体系	336	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	スポーツ推進委員(地区推薦および公募、任期2年・定員30名)を各種研修等に派遣、資質向上を図り、スポーツに関する助言・指導の体制を整備し、生涯スポーツの振興を図る。				
	概要	ニュースポーツ教室・出前講座の開催実施や、各種イベントに際し主催者とともに協働する。				
	コロナ対応の取組	(R3年度)コロナの影響による自主事業の自粛期間があった。また、ニュースポーツ教室参加者が主に中高年者であるため、コロナ感染のリスクを考慮し、R3年度の開催を慎重に判断した。(R4年度)新型コロナウイルス感染状況の把握および県・市のスポーツ活動に関する方針等に従い、感染症対策を徹底してニュースポーツ教室や出前講座を開催する。				
法令根拠	スポーツ基本法第32条	実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	出前講座開講回数・ニュースポーツ教室開催回数		回	目標値	25	25	5	25	25
				実績値	29	32	18		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	出前講座・ニュースポーツ教室参加人数		人	目標値	450	450	50	250	250
				実績値	817	576	401		
	計算根拠	現在の参加人数を維持する		達成率	181.6	128.0	802		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,790	1,854	1,198	1,841	1,307		事業タイ	単独事業
	決算額	1,425	1,754	1,156	833			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	1	101	委員報酬	810	810	
2	10	6	1	201	保健体育事務諸経費	3,317	386	
3	10	6	1	601	スポーツ推進委員協議会等負担金	20	16	
4	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	2,493	95	
5以降								
							合計	1,307

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.6
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1はいえ・2はい) 1 2

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2はいえ) 1 2

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2はいえ) 1 2

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 1 2

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 1 2

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 1 2

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 1 2

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室や出前講座を継続することにより、生涯スポーツの裾野を広げていきたい。

R2年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
将来的に推進委員の人材不足が懸念される。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえたR4年度の変更点
ニュースポーツ教室等参加者の要望や推進委員の意見等を把握し、より良い事業内容の検討を行い、市民の生涯スポーツ振興を推進する。

R4方向性⇒ **維持**

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	全国大会参加支援事業
R2年度 事業名	全国大会参加支援事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	全国大会等に出場する選手を顕彰することで、競技力向上を目指すとともに、出場者の財政負担の軽減を図る。				
	概要	①中学生以下に限り、北陸大会以上の地区大会等に出場する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し5千円を交付する。(ただし、団体競技・種目によっては1競技20人分を限度とする。) ②国民体育大会、全国大会等に出場する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し8千円を交付する。(ただし、団体競技・種目によっては1競技20人分を限度とする。) ③海外大会・遠征等に参加する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し1人30千円または20千円を交付する。 ④全国高等学校甲子園大会は50万円、全国高等学校駅伝大会は20万円を出場するチームに交付する。 ※中体連等が主催の北信越、全国中学校体育大会参加については、学校教育課対応につき対象外				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	内容	対象者へ激励費を支給する。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	交付対象者への支援率(支援件数/要望件数)	達成率	100	100	100			
		実数値	673/673	509/509	92/92			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,550	4,994	4,200	5,000	5,000		事業タイ	単独事業
	決算額	4,550	4,994	3,938	856			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	201	体育振興諸経費	36,386	5,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

今年度 R3方向性⇒ **維持**

取組内容 全国大会等に出場する選手を顕彰し、自己負担の軽減を図ることで、大会出場に対する選手のモチベーションを高める。福井国体で得た輝かしい成果を継承し、さらには東京オリンピックへ向けた地元選手の競技力向上に寄与する。

来年度へ向けて R2年度92件の申請に対して全件の激励金交付を行い、選手のモチベーション向上および競技力向上に寄与した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。市内スポーツ団体等に同事業が認知・定着しており、積極的に活用されている。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの影響により、暫くは各種大会の中止、延期による申請件数減が想定されるが、R3年度以降も事業水準を維持し、全国大会等に出場する選手の財政負担の軽減および競技力向上に寄与して行く。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	体操振興事業補助事業
R2年度 事業名	体操振興事業補助事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

P L A N (計 画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	国際もしくは国内の体操競技大会を鯖江市へ招請、または国内外の一流選手の合宿の開催もしくは優秀指導者の指導を受けるための国内外への遠征等により選手の競技力向上を図る。また、市民が一流の技に触れ体操競技の理解をより深めることにより、「体操のまち鯖江」の振興を図る。				
	概要	国際・全国レベルの選手を招請し、各種大会・イベントや合宿の開催、または優秀指導者の指導を受けることにより競技力向上を図る。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容 国際・全国レベルの選手を招請した各種大会・イベントや合宿の開催、または優秀指導者の指導を受けることにより競技力向上を図るなど、「体操のまち鯖江」を推進する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
選手強化等の合宿、講習、大会、イベントの開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	5	2	2		
計算 根拠			達成率	250	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
(
実
施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,600	1,500	1,500	1,350		事業タイ	単独事業
	決算額	1,500	1,600	1,500	720			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	201	体育振興諸経費	36,386	1,350	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,350

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

今年度	R3方向性⇒	維持
	取組内容	「体操のまち鯖江」を継続的に推進し、地元選手の育成や競技の普及に繋げるとともに、東京オリンピックの中国体操チーム・日本体操チームをパブリックビューイングで応援する等、気運醸成への追い風として活用する事業を展開していく。
来年度へ向けて	R2年度実績	コロナ禍で海外選手等の交流ができなかったが、未来あるU-12の全国ブロック選抜体操競技選手権鯖江大会を開催し、「体操のまち鯖江」をPRすることができた。
	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題	特になし。今後も鯖江市体操協会と情報共有しながら、効果的な事業を検討する。
	実績と課題を踏まえたR4年度の変更点	引き続き、地元選手の競技力向上および市民の体操競技に対する理解度の向上に努め、「体操のまち鯖江」を推進する。 なお、事業の主旨に沿った支援のあり方や大会の規模など県等の調整について、補助金の有効活用の観点から見直しを検討する。
	R4方向性⇒	維持

【提案型市民主役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	つつじマラソン開催事業
R2年度 事業名	つつじマラソン開催事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999	
	目的	市民だれもが気軽に参加できるよう多種多様な種目を実施し、市民の健康づくり・体力づくりを図る。					
	概要	県内外から選手を募り、楽しみながら走られる市民マラソンを開催する。					
	コロナ対応の取組	(R2年度)R2.3月に第42回つつじマラソンの中止を決定した。(R3年度)令和2年12月開催の実行委員会において、令和3年度開催日を10月31日とすること(延期開催)が決定された。未だ新型コロナ禍が落ち着かないこともあり、密を避けて、市民の運動不足を解消するために、オンラインにて「第43回つつじオンラインマラソン」を開催する。 R4年度については感染症対策を徹底しながら実走に戻し、市民参加型の大会として市民の体力向上を図っていききたい。					
法令根拠		実施形態	内容	実行委員会により開催している。			
現在	民間等委託(全部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	マラソンの開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	-		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	マラソン申込者数		人	目標値	3,200	3,200	-	3,200	3,200
				実績値	3,400	3,336	442		
	計算根拠			達成率	106.3	104.3	0		
				実績値					
		ランク	A	A	-				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により中止								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,500	5,000	5,000	6,000		事業タイ	単独事業
	決算額	4,703	5,223	4,945	2,868			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	8,191	6,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	(独)日本スポーツ振興センター助成金	4,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,000

事業要員	正規職員	0.6
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

今年度 R3方向性⇒

取組内容 本大会は県外からも多くのランナーが参加する市民マラソン大会として認知度が高い。だれもが気軽に参加でき、健康づくり・体力づくりや、家族とのふれあい、仲間との親睦を図る意味でも有意義なイベントとして定着しており、今後も鯖江を有効にPRする事業として維持したい。ただし、コロナウイルス等の関係で、マラソンのやり方を考えていく必要がある。

来年度の実績 R2年度新型コロナウイルスの影響により中止となった。(申込者数442人)

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
現在のマラソンコースの交通規制に対する地域関係者からの不満がある。コロナ対応として、R3は日程を変更し、10月31日にオンラインによる開催としたが、今後、安全安心な大会運営について検討していく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況等に注視し、必要な対策を講じるなど、参加者および運営要員の安全を確保した大会実施を実現する。また、マラソンコースの変更について、関係団体や関係機関との調整も含め、検討を進める。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	スポーツ少年団活動補助事業
R2年度 事業名	スポーツ少年団活動補助事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきいと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

P L A N (計 画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域の中に」を願いとする、スポーツ少年団の加入促進を図るとともに、近年の核家族の進展に伴う学童保育の要望にも対応できるよう、その受け皿として、スポーツ少年団活動や、その活動を通じて総合型スポーツクラブへの加入促進を図りながら、スポーツ振興と青少年の健全育成を図る。				
	概要	スポーツ少年団の理念に基づく活動ができるよう、その活動費を補助する。500千円				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)スポーツ少年団活動の自粛に伴う再開が6月15日だったこと。その後の活動内容にも制限がかかったことにより、活発な団員募集活動ができなかった。(R3年度以降)新型コロナウイルス感染症対策を各団体に引き続き依頼し、保護者が安心して子供を預けられる環境を整えることで加入促進を図る。				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
スポーツ少年団への加入率		%	目標値	21	21	14	14	15
			実績値	17.1	17.1	19.9		
計算 根拠	スポーツ少年団登録者数/全児童数		達成率	81.4	81.4	142		
			実数値	715/4188	715/4171	816/4098		
			ランク	B	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
(実
施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	500	500	450		事業タイ	単独事業
	決算額	500	500	500	500			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	602	スポーツ少年団活動費補助金	450	450	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	450

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
各単位団体がおこなう団員募集活動に対する支援を継続するとともに、指導者および保護者に研修の機会を設けるなど、スポーツ少年団活動の質の向上と、より多くの児童が健全にスポーツに親しむ環境づくりに努めていく。

来年度へ向けて R2年度の実績
各単位団体が行う団員募集活動の支援等を行い、団員加入率の向上に努めたが成果指標に達しなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
スポーツ少年団は1962年に創設され、その活動は世の中にも定着しているが、近年、加入率は成果指標を上回ることができない状況にある。少子化の進行や子供の習い事の選択肢が増えたこと等が要因と考えられる。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き、各単位団体の活動を支援し、スポーツを通じた児童の健全育成の環境づくりに努める。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	開放学校開催事業
R2年度 事業名	開放学校開催事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	学校施設の利用による、生涯スポーツの振興。				
	概要	小学校(12校)、中学校(3校)の体育館および校庭を生涯スポーツ振興の地域拠点として開放する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)約3ヵ月の開放学校の自粛期間(中学生以下、一般の時期が違った)により活動実績はかなり減少となる可能性あり。R3年度以降コロナが落ち着くまで、感染状況によっては活動実績に影響を受けるとともに、感染防止対策による消毒関連の費用が増大することが予想される。				
法令 根拠		実施 形態	内容	小・中学校施設(体育館)の開放を促進を図り、併せて利用に伴う消耗品の購入や施設修繕を行い、地域スポーツの振興を図る。		
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
開放学校実施日数		日	目標値	4,010	4,010	3,000	3,000	3,000
			実績値	4,398	4,039	3,333		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
学校開放施設の利用者数		人	目標値	145,000	145,000	87,000	87,000	87,000
			実績値	129,141	116,218	95,018		
計算 根拠			達成率	89.1	80.2	109.2		
			実数値					
		ランク		B	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,167	1,167	1,137	2,453	1,407		事業タイ	単独事業
	決算額	1,032	983	381	1,985			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	2,493	1,407	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,407

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20 B**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
小・中学校(15校)の体育館、グラウンドを生涯スポーツ振興の地域拠点として開放し、学校の利用規定と施設維持管理に配慮しながら、地域スポーツの発展に資することを目的として事業を維持していきたい。
新型コロナウイルスの影響で運動ができなくならないよう、感染状況をみながら、活動の場を提供していきたい。

R2年度の実績
新型コロナウイルスの影響で、活動が減退すると考え前年の6割程度と目標設定したが、活動指標である実施日数や成果指標である利用者数で目標値を上回ることが出来た。コロナの影響で運動ができなくならないよう、市内在住者限定にする等、感染対策を講じたうえで活動の場を確保した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
開放学校利用団体の7割弱が児童で構成される団体であり、利用者数の減少は少子化の影響が考えられる。また、R2年度から施設利用料を改定したことで、利用を控える団体も想定される。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
今後も生涯スポーツの地域拠点として学校施設を開放し、地域スポーツの発展に努める。また、施設の維持管理について、利用者の利便性向上のため、適切な修繕に努める。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業
R2年度 事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	総合型地域スポーツクラブへの活動支援により生涯スポーツの振興を図る。				
	概要	市内3つの総合型地域スポーツクラブによる市民ニーズに応じたスポーツ教室の開催等子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる各種クラブ活動を支援し、スポーツ人口の増加および生涯スポーツの振興を図る。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) コロナの影響による活動自粛期間(3ヵ月)があったため、3つのクラブともに会費の徴収、活動再開のタイミング、教室等の開催人数の制限など、加入人数に影響が出ている。R3年度以降は、コロナ感染対策として教室の1回当たりの人数制限など、活動方針を検討する必要がある。				
法令 根拠		実施 形態	内容	3つのスポーツクラブ(さばえ・東陽・鯖江北)に対する支援を行なう。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
総合型地域スポーツクラブの加入人数		人	目標値	2,200	2,200	1,500	1,500	1,500
			実績値	2,002	2,189	1,743		
計算 根拠			達成率	91.0	99.5	116.2		
			実数値					
			ランク	B	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,480	5,480	5,460	5,450	4,900		事業タイ	単独事業
	決算額	5,432	5,432	5,433	5,433			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	203	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業費	4,900	4,900	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,900

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容
市内の総合型地域スポーツクラブ3団体の財政支援を行いながら、連絡協議会等を通じた自立・統合への検討を継続していきたい。

R2年度の実績
新型コロナウイルスの影響で加入者の減少が見込まれたが、総合型地域スポーツクラブ3団体の加入促進の努力もあり、成果指標の目標値に近い実績となった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R2年度の加入者数は昨年度と比較し、低い水準にとどまっている状況にある(さばえスポーツクラブでは前年同期の7割程度の加入者数)。施設使用料改定に伴う会費等の値上げおよび新型コロナウイルスの影響等が考えられる。地域部活動推進事業として、教員の働き方改革に伴い、休日の部活動をスポーツクラブの活動として行うことによる課題の洗い出しが必要となる。
また、今後、各スポーツクラブの自立を目指した取り組みを支援して行く必要がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況等に適切に対応し、引き続き、総合型地域スポーツクラブ3団体との連携および財政支援等を行い、市民の生涯スポーツ振興を図る。
なお、補助金額の見直しを検討するとともに、各クラブの自立に向けた支援のあり方についても検討する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	スポーツ全国大会・企画イベント等補助事業
R2年度 事業名	スポーツ全国大会・企画イベント等補助事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	鯖江市における各種スポーツ大会(全国・北信越)およびスポーツイベントの開催を支援し、鯖江市のPRおよび競技力の向上を図る。				
	概要	鯖江市における各種スポーツ大会(原則、全国・北信越レベルの大会)および特別に企画されたスポーツの普及・振興につながるイベントの開催に対して支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	内容	各種スポーツ大会の開催支援を行うとともに、各種種目の競技力向上と鯖江市の観光PRを行う。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
支援率 件数)	※補助金対象者への補助率(補助件数/要望 件数)	%	目標値	-	100	100	100	100
			実績値	-	100	100		
計算 根拠	補助金対象者への補助率(補助件数/要望件数)		達成率	-	100	100		
			実数値		1/1			
			ランク	-	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,682	0	2,000	2,875	2,135		事業タイ	単独事業
	決算額	1,635	0	2,000	2,875			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	8,191	2,135	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,135

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容
 鯖江市における各種スポーツ大会の開催を支援することにより、スポーツの普及、振興に寄与するとともに、競技団体の活性化、地元選手の競技力向上を推進し、鯖江市のPRを図る。

来年度へ向けて R2年度の実績
 全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会の開催を支援し、「体操のまち鯖江」を推進した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
 特になし。競技団体の支援要望には積極的に対応したい。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
 事業の趣旨に合った大会等開催について今後も積極的に支援し、競技団体の活性化、地元選手の競技力向上を推進し、鯖江市のPRを図る。
 なお、補助金交付団体に対し、参加者負担金の徴収や大会の規模など県等の調整について、補助金の有効活用の観点から見直しを検討する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	ユークルさばえ各種講座運営事業
R2年度 事業名	ユークルさばえ各種講座運営事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	若者が教養を深め交流を図るための講座を開設し、青少年の健全育成を図る。				
	概要	青少年を対象に教養講座を開設。料理、生花、書道(ペン習字・細筆)、抹茶、エアロビクス等の講座を行い、そのほか若者が望んでいるその時々の課題とニーズに応じた特別講座を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)閉館(R2.3.2~5.24)と自主事業の中止(R2.4.1~6.30)により、講座生の募集、利用者友の会の総会ができないなどの影響により利用者の減は必至である。(R3年度~)感染拡大防止策を講じたうえで利用者数増に向けた取組みを展開していくとともに、ICTの環境整備の検討、実施を行い、オンライン等の活用も視野に検討していく必要がある。				
法令 根拠	青少年の雇用の促進等に関する法律(H27.10.1 改正)	実施 形態	内容	市の職員が講座の企画、運営について事務を行っている。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	教養講座開講数		回	目標値	400	400	300	400	300
				実績値	492	495	332		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	教養講座受講者数		人	目標値	5,000	5,000	2,900	5,000	2,900
				実績値	5,470	4,864	2,925		
	計算 根拠	年間延べ講座受講者数	達成率	109.4	97.3	100.8			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330		事業タイ	単独事業
	決算額	1,319	1,328	1,325	1,050			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	15	202	各種講座等運営費	1,330	1,330	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,330

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	0.75
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度取組内容
新型コロナウイルスの感染拡大防止や年度後半に空調工事更新工事を施工するため、取り組みが制限されるものの広報による認知度アップとPR・昼間の時間帯における利用促進を図り、若者団体や若者育成団体との連携交流を進める。青少年のニーズの把握に努め、外部団体等(県内外の大学生グループ、エコネット等)との連携による事業展開を図る。

R2年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
若者団体や若者育成団体との連携交流が課題であるほか、様々な教養講座における参加費の取扱い等事務のあり方

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き、条例に基づき動労青少年の福祉を増進するために、フェイスブック等のPRや昼間の時間帯における利用促進を図り、本事業を展開していくとともに、オンラインでの講座や会議などが可能となるような環境整備を実施すると共にオンライン等による講座や会議の方法を検討していく。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	公民館各種学級運営事業
R2年度 事業名	公民館各種学級運営事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地域の実情や特性を考慮した家庭教育、女性支援等による学級・講座を実施し住民の学習ニーズに応え、地域教育力の向上、充実を図る。					
	概要	地域住民の家庭教育、女性支援事業、環境教育、人権教育等の学級・講座を開催し教育力の向上に努める。 ※R4年度より下記事業をここに統合する。 ①親と子のふれあい事業:各公民館学級講座として、青少年育成協議会や子ども会等との連携により、親と子の絆を深める事業。 ②地域青年交流事業:各公民館青年学級講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深め、地域の活性化につながる事業。 ③地域における食育学習事業:伝統料理、農業体験、親子料理教室等を開催する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度)閉館(R2.3.2~5.24)と自主事業の中止(R2.4.1~6.30)により、公民館利用者の減は必至である。(R3年度~)コロナ禍における公民館事業のあり方を検討するとともに、ICTの環境整備の検討、実施を行い、オンライン等の活用も視野に検討していく必要がある。					
	法令 根拠 現在	社会教育法 市直営	実施 形態	内容	公民館主催の各種学級・講座の企画・運営。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	生涯学習講座・学級開催数(新講座を含む)		回	目標値	100	100	50	100	50
				実績値	189	145	64		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	生涯学習講座・学級利用者数(新講座を含む)		人	目標値	12,000	12,000	3,800	12,000	3,000
				実績値	17,003	11,050	2,957		
	計算 根拠	年間利用者数	達成率	141.7	92.1	77.8			
			実数値						
		ランク	A	B	C				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により想定していたより講座などが実施できなかったため								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,928	4,182	4,373	4,345	3,957		事業タイ	単独事業
	決算額	4,928	3,712	4,071	2,175			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	202	各種学級運営費	6,028	3,957	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,957

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	1.7
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **16 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
地域の実情に合わせた地域の教育力の向上に向けた講座を開催し、地域住民同士が学びあうことにより、公民館を生涯学習およびまちづくり推進の拠点施設として充実を図る。
また、各種学級等には地区住民はもとより、市内すべての地区から参加できるようPRに努め、講座内容にも工夫を図っていく。

R2年度の実績
地域の実情に合わせた地域の教育力の向上に向けた講座を開催し、地域住民同士が学びあうことにより、公民館を生涯学習およびまちづくり推進の拠点施設として充実を図った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
各種学級等には地区住民だけでなく、市内すべての地区から参加するための工夫やコロナ禍において、公民館に参加できない地域住民への各種学級の運営のあり方、講座内容が課題である。また、オンラインでの講座や会議などが可能となるような環境整備に関する要望等もある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き、社会教育法第22条に基づき地域の実情や特性を考慮した家庭教育、女性支援、環境教育、人権教育等の学級、講座を開催し、教育力の向上を目指していくとともに、オンラインでの講座や会議などが可能となるような環境整備を実施するとともにオンライン等による講座や会議の方法を検討していく。
また、「親と子のふれあい事業(2110)」、「地域青年交流事業(2111)」、「地域における食育学習事業(2138)」は本事業に包括して含まれることから統合する。

R4方向性⇒ **統合**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R4年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	福井県駅伝競走大会開催補助事業
R2年度 事業名	福井県駅伝競走大会開催補助事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいそいそと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民の駅伝競技への関心を深め、市内の小学校・高校・一般の競技力向上を図る。さらに、駅伝を通じたまちづくりを行う。				
	概要	福井県内の小学校・高校・一般の駅伝大会を開催する経費の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
大会開催数		大会	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	2		
計算 根拠	一般、高校、小学校の3回	達成率	100	100	66.7			
		実数値						
			ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	改修工事のため、小学の部は別会場(市外)で開催した。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	475	475	475	475	475		事業タイ	単独事業
	決算額	475	475	475	475	475		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	8,191	475	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	475

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **12 / 16 B**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
 鯖江市での大会開催を支援することで、市民の駅伝競技への関心を深め、市内の小学校・高校・一般の競技力向上を図るとともに、駅伝を通じたまちづくりを展開し、全国へ本市の情報発信を継続していきたい。

来年度へ向けて R2年度の実績
 福井県駅伝競走大会の開催を支援し、市民の駅伝競技に対する関心を深め、本市の魅力を情報発信した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
 令和2年度で18年間継続して本市で開催しており、鯖江市陸上競技協会としてスタッフの確保等が年々困難になってきている中で、昨年度、開催場所の各市等持ち回り等の検討が必要ではないか等、県陸上競技協会や高体連と話し合いを行った。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
 実行委員会の中で、開催地の持ち回り等運営方法について検討してもらおう働きかけることとするが、福井県駅伝競走大会の開催については引き続き支援し、駅伝を通して本市の魅力を発信したい。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名 _____
 市民主役事業にかかる額(単位千円): _____

R4年度事業名 _____
 市民主役事業にかかる額(単位千円): **0**

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	連合青年団活動費補助金
R2年度 事業名	連合青年団活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	青年祭、学習祭、機関紙の発行等を通して青年活動を高め、団結力を強めながら地域の活性化を図る。				
	概要	従来事業(研修、若越大会、他団交流研修)のほか、成人式実行委員会などに青年団として参加し、若者の顔が見える事業に協力している。青年団活動に対し事業補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告のみの事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
リーダー研修会の開催		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
計算 根拠			達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	270	270	270	240		事業タイ	単独事業
	決算額	270	270	270	140			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	240	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	240

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

今年度 R3方向性⇒ 維持

取組内容
青年団として社会参加・貢献を目指し、青年活動の活性化を図ることはもちろんのこと、成人式実行委員会のサポートを行うなどの新たな事業展開を支援するため事業補助を行う。

来年度へ向けて R2年度の実績
青年団として社会参加・貢献を目指し、青年活動の活性化を支援するため事業補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
青年活動の活性化を図ることはもちろんのこと、成人式実行委員会のサポートを行うなど、今後も新たな事業展開を支援していく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き、青年団として社会参加・貢献を目指し、青年活動の活性化を図ることはもちろんのこと、成人式実行委員会のサポートを行うなどの新たな事業展開を支援するため事業補助を行っていく。

R4方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R4年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	連合女性会活動費補助金
R2年度 事業名	連合女性会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	家庭や地域で女性の役割を認識し、豊かなふるさとづくりに努める。				
	概要	女性の社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のための事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
独自事業の開催		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6		
計算 根拠			達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	600	600	600	600	540		事業タイ	単独事業
	決算額	600	600	600	531			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	540	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	540

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

今年度 R3方向性⇒

取組内容
地域の女性の役割を認識し、女性会独自事業や関係団体との連携事業を実施していく。市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した事業展開ができるよう、市は補助金を交付する中で支援していく。

R2年度の実績
社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる女性会に、社会学習活動および組織強化活動等に対する事業補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した女性活躍の事業として捉えるならば、市組織の所管課を検討する余地がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
今後も継続して社会教育の観点から補助金を交付する形で支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	PTA連合会活動費補助金
R2年度 事業名	PTA連合会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内各単位PTA相互の連携を密にし、親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、その方途を思慮して企画実践し、青少年教育の一層の充実を図る。				
	概要	家庭での食育、安全安心、家庭教育力の向上などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
各単位PTA会長会の開催		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
計算 根拠			達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	180	180	180	160		事業タイ	単独事業
	決算額	180	180	180	180			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	160	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	160

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、市内各単位PTA相互の連携ならびに青少年健全育成鯖江市民会議との連携を密にし、青少年健全育成のより一層の充実を図る。

来年度へ向けて R2年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、より一層の充実を図っていく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、今後も継続して補助金を交付することで支援していく。所管課の変更も検討。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金
R2年度 事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会の中核である壮年会の活動を活性化し、豊かな地域づくりを促進する。				
	概要	壮年グループ連絡協議会の活動費の補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
理事会議等の開催		回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	14	12	6		
計算 根拠			達成率	116.7	100	50		
			実数値					
			ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、必要な会議等が実施できなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	500	500	450		事業タイ	単独事業
	決算額	500	500	500	435			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	450	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	450

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
コロナ禍ではあり活動は制限されるが、社会の中核である壮年会の活動を活性化し、市内各壮年会の連携を図り豊かな地域づくりに貢献することを支援する。近年、同協議会が実施している「高齢者宅の大型ごみ回収事業」等については、関係各課との調整を行うなどして、活動拡大の支援を行う。

来年度へ向けて R2年度実績
新型コロナウイルスの感染拡大のなか、活動が制限され、例年の活動ができなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
新型コロナウイルスの感染拡大している状況であり、想定していた会議、事業などが実施できなかった。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況に注意しつつ、可能となる取組みを支援するため、補助金を交付により、豊かな地域づくりを支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	やっしまつり事業交付金
R2年度 事業名	やっしまつり事業交付金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ふれあいの里づくりを醸成するため、“やっしまつり”をとおして地域の活性化を図る。 ・かけがえのないわが街、鯖江を活性化するために昭和49年から鯖江市壮年グループ連絡協議会設立記念行事として開催されている“やっしまつり”をふるさと鯖江の伝統芸能の継承と地域のふれあい交流の場として定着させる。				
	概要	やっしまつりの活動費の交付				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) やっしまつり実行委員会から中止のお知らせがあり、交付金交付を凍結した。(R3年度) 3密にならない感染拡大防止策をどのように行うかを検討していたが、やっしまつり実行委員会からの中止のお知らせがあり、交付金を凍結した。				
	法令 根拠	現在	補助金等交付	実施 形態	内容	交付金申請、実績報告書のみの事務。

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
まつりの開催回数			目標値	1	1	-	1	1
			実績値	1	1	-		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
まつりの参加者		人	目標値	2,200	2,200	-	2,200	2,200
			実績値	2,200	1,300	-		
計算 根拠			達成率	100	59.1	-		
			実数値					
			ランク	A	C	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、やっしまつりが実施できなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	2,700	2,700	2,700	2,400		事業タイ	単独事業
	決算額	2,700	2,700	2,700	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	2,400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,400

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.04
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった。

来年度へ向けて R2年度の実績
新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R2、R3とも、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。感染拡大中の事業の実施は困難である。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況に注意しつつ、ふるさと鯖江の伝統芸能の継承と地域のふれあい交流の場として定着させるため、今後も継続して支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	心の電話相談活動費補助金
R2年度 事業名	心の電話相談活動費補助金

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与する。				
	概要	心の電話の活動費の補助				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
研修会の開催		回	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	9	10	5		
計算 根拠	2月に1回以上の開催	達成率	128.6	142.9	71.4			
		実数値						
		ランク	A	A	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス拡大防止のため、4月から8月頃まで研修会が開催できなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	45	45	45	45	40	事業タイ	単独事業
	決算額	45	45	45	45		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与することを支援する。
H28年度に30周年を迎えた同会の伝統を、今後も継続・発展させていくために、会員の拡大につながるよう補助金交付事務にあたっていく。

来年度へ向けて R2年度の実績
電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与するための事業補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
今後も研修会を実施することで相談員としての資質向上を目指していく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与することを目指し、今後も継続して支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	スカウト育成会活動補助金
R2年度 事業名	スカウト育成会活動補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ボーイ・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与する。				
	概要	スカウト協議会の活動費を補助する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
研修・訓練等事業開催回数		回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
計算 根拠			達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	90	90	90	90	80	事業タイ	単独事業
	決算額	90	90	90	90		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,270	80	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	80

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
ボーイスカウト・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与する。H30年度に結成60周年を迎えたのを契機に、メンバーの拡大につながるよう支援しながら補助金交付事務にあたる

来年度の実績
R2年度の実績
ボーイスカウト・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与することを支援するため事業補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
高度の教育プログラムに挑戦し、さらに高度の技能を習得することで、健全な青少年の育成を支援していく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
ボーイスカウト・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与することを目指し、今後も継続して支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	成人式開催事業
R2年度 事業名	成人式開催事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	Uターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	-----------

P L A N (計 画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	新成人の門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。				
	概要	次代を担う新成人の門出を祝福する成人式を、新成人自らが企画・運営し実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)令和3年1月10日に成人式を市総合体育館にて実施した。オンライン配信、手指消毒や検温の実施、入場券制の導入など、感染拡大防止策を講じて実施した。(R3年度~)改修を終えた市文化センターにて感染拡大防止策を講じ2回の開催で実施していく。				
法令 根拠		実施 形態	内容	新成人の実行委員会形式による成人式の企画・運営。		
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実行委員会開催数		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
成人式参加者率		%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86.8	82.1	66.9		
計算 根拠	成人式出席者数 / 新成人数	達成率	108.5	102.6	83.6			
		実数値	617/711	639/778	502/750			
		ランク		A	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響と思われる参加者数の減少のため							

D
O
(実
施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	765	771	1,765	2,840	1,464		事業タイ	単独事業
	決算額	765	771	1,703	2,839			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	203	成人式経費	1,464	1,464	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,464

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
 新成人の門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。また、新成人自らが成人式実行委員会のメンバーとなり、企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげる取組とする。
 市連合青年団に実行委員会に関わってもらうことで、新成人に連合青年団の活動を理解してもらえよう支援していく。
 文化センターの耐震改修工事も完了し、文化センターにて、新型コロナウイルス感染対策のため、2回に分けて開催する。

来年度へ向けて R2年度の実績
 新成人の門出を祝福する式典を市総合体育館で開催し、次代を担う青年の健全育成を図った。また、新成人自らが成人式実行委員会のメンバーとなり、企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげた。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
 R2年度においても文化センターの耐震改修工事期間であることから、コロナ禍の中で感染拡大防止策を講じながら市総合体育館での開催を実施していくが、R3年度は文化センターでの開催となるため、コロナ禍での開催の方法や感染拡大防止対策を講じていく必要がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
 民法改正に伴い成人となる年齢が引き下げとなる。それに伴い、現行の成人式についてどのようなか検討を行い、対象年齢を二十歳とし、現行のとおりの実施とした。※県内はすべて20歳での成人式(はたちのつどい等)の開催としている。文化センターで式典を開催することで開催回数の検討や感染拡大防止対策を講じていく。成人式を実施することで次代を担う青年の健全育成を図り、新成人自らが実行委員となり、主体的に企画・運営に携わり、自らが成人式を開催することで「ふるさと鯖江」の再発見につなげ、次代を担う青年の健全育成を図っていく。
 ※新たに成人となる方(令和4年4月以降の18歳到達者等)については、別途、令和4年3月頃を目途とし、広報等により、権利義務の啓発、新成人へのお祝いを実施予定。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金
R2年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999	
	目的	市民の総意を結集し、青少年の健全育成や非行防止等の活動推進を図る。					
	概要	青少年育成等に関する各種団体の緊密な連携により、全域あけての青少年育成を図り、青少年健全育成の推進に向け、家庭教育啓発機関紙(はぐくみ)の発行を行う。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度)コロナの影響により11月に予定していた市民大会を中止しているほか、各地区における青少年健全育成活動にもかなり制限がかけられている。(R3年度~)コロナ禍における青少年健全育成市民会議の活動内容を検討していく必要がある。また、感染状況に注意しつつ、可能な取組みは実施していく。					
法令 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、事務補助、実績報告書の事務。			
現在	補助金等交付						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	青少年の健全育成や、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の開催(H30年度は県民大会実施)	回	目標値	1	1	-	1	1
			実績値	1	1	-		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	青少年の健全育成や、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の参加者数(H30年度は県民大会参加者数)	人	目標値	200	200	-	200	200
			実績値	600	250	-		
計算 根拠	少子化の現状の中で、参加者数を維持		達成率	300	125	-		
			実績値					
			ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、市民大会の開催ができなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,150	3,150	3,650	3,650	3,200		事業タイ	単独事業
	決算額	3,150	3,150	3,650	3,063			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,240	3,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,200

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度取組内容
会員が問題意識を共有し、意識を向上させるために、特にいじめや犯罪につながるSNSやネット利用などの情報モラルをはじめ、学校現場や急激に変化する情報環境など、青少年に関わる問題について把握していく。さらに、迅速かつ柔軟に対応するための研修会等を開催しながら、市民会議全体はもとより会員がそれぞれの団体、地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう情報共有と連携を図っていく。引き続き、青少年健全育成の推進に向け、家庭教育啓発紙(はぐくみ)を発行していく。

R2年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市民大会は中止となったが、コロナ禍での可能な取組を市民会議全体はもとより会員がそれぞれの団体、地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう今後も情報共有と連携を図っていく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況に注意しつつ、今後も市民の総意を結集し、青少年の健全育成や非行防止の活動推進を支援していく。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	少年警察協働員会事業補助金
R2年度 事業名	少年警察協働員会事業補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、世論の啓発により少年の健全育成を図る。				
	概要	少年警察協働員会への活動のための補助金				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
少年の非行防止と健全育成を目的とした啓発事業の実施		回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	15	12	6		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
少年の非行防止と健全育成を目的とした行事等の従事者数		人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	28	27	27		
計算 根拠			達成率	140	135	135		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	45	45	45	40		事業タイ	単独事業
	決算額	45	45	45	45			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,240	45	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	45

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行なっている少年警察協働委員会の活動のための補助を行う。

R2年度の実績
自転車防犯診断、補導活動等、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行なっている少年警察協働委員会の活動補助を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努めていく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
今後も少年の非行防止と福祉の増進に努め、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行なっている少年警察協働委員会の活動補助を行っていく。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	親子のふれあい事業
R2年度 事業名	親子のふれあい事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

P L A N (計 画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	2021
	目的	保育所(園)・幼稚園・小学生とその親を対象に、親子の絆を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	概要	地域や家庭の教育力向上の推進に向け、各公民館学級講座として、青少年育成協議会や子ども会等との連携により、親子の絆を深める事業を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)閉館(R2.3.2~5.24)と自主事業の中止(R2.4.1~6.30)により、公民館利用者の減は必至である。(R3年度)コロナ禍における公民館事業のあり方を検討するとともに、各講座等ICTによる講師の動画配信も視野に検討していく必要がある。				
法令 根拠		実施 形態	内容	親子ふれあい事業の企画・運営。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
親子の絆を深める、学級・講座・イベント等の開催	回	目標値		70	70	40	70	70
		実績値		60	46	17		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
学級・講座・イベント等の延べ参加者数	人	目標値		6,000	6,000	4,000	6,000	6,000
		実績値		6,270	5,203	965		
計算 根拠	少子化の現状の中で、参加者数を維持	達成率		104.5	86.7	24.1		
		実数値						
		ランク		A	B	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により想定していたより事業などが実施できなかったため							

D
O
(実
施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	360	337	164	184	360		事業タイ	単独事業
	決算額	240	274	114	101			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	202	各種学級運営費	6,028	360	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	360

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
新型コロナウイルス感染状況に注意しつつ、地域や家庭の教育力向上の推進に向け、各公民館学級講座として、青少年育成協議会や子ども会等との連携により、親と子の絆を深める事業を行う。

R2年度の実績
新型コロナウイルス感染拡大のため、事業実施の機会が失われ、目標には至らなかった。実施した事業については、各公民館学級講座として、青少年育成協議会や子ども会等との連携により、親と子の絆を深める事業を実施した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
コロナ禍での取組みであり、感染拡大防止しながらの事業実施であることや県の緊急事態宣言の発出などもあり、活動が制限された。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
オンライン等での事業実施の検討も必要であるが、原則、対面等で実施する事業であり、開催場所や実施規模の検討を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、各公民館学級講座として、引き続き地域の青少年育成協議会や子ども会等との連携し、親と子の絆を深め、地域の教育力向上に努めていく。
また、本事業は「公民館各種学級運営事業(1592)」に包括されることから統合する。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	地域青年交流事業
R2年度 事業名	地域青年交流事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	2021
	目的	多くの青年が公民館に集うことにより、地域貢献につながり地域を活性化する。				
	概要	地域における青年活動の活性化(地域青年交流事業)の推進に向け、各公民館青年学級講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深め、地域の活性化につながる事業を行う。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)R2年度成人式(R3.1.10)終了後の各地区公民館における新成人の交流会は中止とした。(R3年度～)各地区公民館における新成人の交流会については、新型コロナ感染状況をみながら検討していく。				
法令根拠		実施形態	内容	地域の青年活動の活性化支援の為の事業の企画・運営。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
青年層を対象とした生涯学習講座・学級・交流会等の開催数		回	目標値	15	15	5	15	15
			実績値	22	24	2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
講座・学級・交流会等の延べ参加者数		回	目標値	1,000	1,000	100	1,000	1,000
			実績値	730	646	40		
計算根拠			達成率	73.0	64.6	40		
			実数値					
			ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により想定していたより事業などが実施できなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	389	373	304	288	300		事業タイ	単独事業
	決算額	214	273	234	6			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	202	各種学級運営費	6,028	300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	300

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
新型コロナウイルス感染状況に注意しつつ、地域における青年活動の活性化に向け、各公民館青年学級講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深め、地域の活性化につながる事業を行う。

来年度へ向けて R2年度の実績
新型コロナウイルス感染拡大のため、事業実施の機会が失われ、目標には至らなかった。青年学級講座や地区イベントにおける参加する場の提供等を通して、地域貢献できるよう地域活性化につながる事業を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
コロナ禍での取組みであり、感染拡大防止しながらの事業実施であることや県の緊急事態宣言の発出などもあり、活動が制限された。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルス感染拡大防止しつつ、引き続き、各地区青年が活動できる場の提供や青年学級講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深め、定住化やリーダーの発掘を目指し地域の活性化につながる事業を行っていく。
また、本事業は「公民館各種学級運営事業(1592)」に包括されることから統合する。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	地域における食育学習事業
R2年度 事業名	地域における食育学習事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	2021
	目的	地域・公民館を拠点とした食育学習を、生涯学習の一環として積極的に取り組むことで、地域の教育力の向上を目指す。				
	概要	地域・公民館を拠点とした食育学習を、生涯学習の一環として積極的に取り組むことで、地域の教育力の向上を図る。伝統料理、農業体験、親子料理教室等を開催する。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)閉館(R2.3.2~5.24)と自主事業の中止(R2.4.1~6.30)により、公民館利用者の減は必至である。(R3年度)公民館において食事をとることの制限をにかけていることから食育事業については今後の展開を検討する必要がある。				
法令 根拠		実施 形態	内容	地域における食育活動事業の企画・運営。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	食育学習に係る、学級・講座・イベント等の開催	回	目標値	100	100	30	50	50
			実績値	46	38	13		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	学級・講座・イベント等の延べ参加者数	人	目標値	2,500	2,500	1,000	2,000	2,000
			実績値	1,844	1,681	272		
計算 根拠	少子化の現状の中で、参加者数を維持		達成率	73.8	67.2	27.2		
			実数値					
			ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により想定していたより事業などが実施できなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,179	793	597	568	562		事業タイ	単独事業
	決算額	1,179	512	459	181			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	202	各種学級運営費	6,028	562	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	562

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	1.25
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度取組内容
新型コロナウイルス感染状況に注意しつつ、伝統料理、農業体験、講演会、親子料理教室等、地域・公民館を拠点とした食育学習を生涯学習の一環として積極的に取り組む。

R2年度の実績
新型コロナウイルス感染拡大のため、事業実施の機会が失われ、目標には至らなかった。各館ともに、伝統料理、農業体験、講演会、親子料理教室等、公民館を拠点とした食育学習を生涯学習の一環として取り組んだ。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
コロナ禍での取組みであり、感染拡大防止しながらの事業実施であることや県の緊急事態宣言の発出などもあり、活動が制限された。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルス感染拡大防止しつつ、伝統料理、農業体験、講演会、親子料理教室等、公民館を拠点とした食育学習を生涯学習の一環として取り組むことで、地域の教育力向上を引き続き目指していく。
また、本事業は「公民館各種学級運営事業(1592)」に包括されることから統合する。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	生涯スポーツ振興交付金事業
R2年度 事業名	生涯スポーツ振興交付金事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	鯖江市スポーツ協会へ事業委託を行い、生涯スポーツの振興と競技力向上を図る。				
	概要	鯖江市スポーツ協会に対して、市民体育大会、市民スポーツの日等各種事業の実施について、事業交付金として交付し、スポーツ協会による主体的な事業展開を図るとともに、生涯スポーツの振興、競技力向上を推進する。				
	コロナ対応 の取組	(R3年度)市スポーツ協会への事業交付金の中で、市民体育大会開催事業、村上市とのスポーツ交流事業等の中止を決定した。(R4年度以降については、コロナ禍において、市スポーツ協会の事業推進をどのように行うか検討が必要である。				
法令 根拠		実施 形態	内容	市民スポーツの日事業、村上市との交流事業、各種スポーツ大会事業、市民体育大会事業等にかかる事業交付金を交付し、スポーツ協会による主体的な事業展開を図る。		
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
各種スポーツ大会開催数		大会数	目標値	30	30	15	20	20
			実績値	30	24	-		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
各種スポーツ大会参加者数		人	目標値	10,000	10,000	1,000	5,000	5,000
			実績値	13,314	14,363	-		
計算 根拠			達成率	133.1	143.6	-		
			実数値					
			ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、各種大会を中止にしたため。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	16,750	13,650	17,250	17,400	17,820		事業タイ	単独事業
	決算額	16,750	13,650	17,250	10,784			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	601	生涯スポーツ振興交付金	17,820	17,820	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	17,820

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度取組内容
(一社) 鯖江市スポーツ協会に対して事業交付金として交付し、市民体育大会や市民スポーツの日の開催、各種目団体の競技力向上を目的とする支援事業等を委託し、スポーツ協会の機動力、リーダーシップに基づいた事業展開を図ることで、生涯スポーツの振興を推進していく。

来年度の実績
R2年度新型コロナウイルスの影響により中止。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R2年度について新型コロナウイルスによる実施中止を決定した事業が発生しており、今後も感染状況等を注視していく必要がある。(一社) 鯖江市スポーツ協会と連携し、適切に対応していく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き、(一社) 鯖江市スポーツ協会による機動力、リーダーシップに基づいた事業展開により、市民の生涯スポーツ振興を推進する。
なお、交付額について、各事業に対して適切な額であるかを精査する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____

R4年度事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____ 0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	放課後子ども教室推進事業
R2年度 事業名	放課後子ども教室推進事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	全ての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、子どもの健全育成を図る。				
	概要	地域住民の参画を得て、子どもとともに勉強やスポーツなどに取り組み、安全・安心な居場所を整備する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)公民館が閉館になっている期間があり、居場所づくりとしての開所日数は影響している。(R3年度～)感染拡大防止策をとりながら実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	放課後子ども教室の企画・運営。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
開所公民館数		地区	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
計算 根拠	放課後子ども教室の開所している地区公民館数	達成率	100	100	100			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,697	5,788	5,772	6,373	5,685		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	5,369	5,573	5,758	3,257			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	7,309	5,685	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,685

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会教育活動費補助金(国1/3県1/3)	3,360
2		
3		
4		
5以降		
合計		3,360

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
新型コロナウイルス感染状況に注意しつつ、地域のボランティアの参画を得て、文部科学省の推進する安全・安心な居場所づくりに努めるとともに、実施内容の充実を図る。

R2年度の実績
新型コロナウイルス感染拡大のため、公民館を閉館していたため、目標には至らなかった。公民館閉館後、新型コロナウイルス感染拡大防止につとめつつ、各地区公民館において、安全・安心な子どもたちの活動拠点拠点を設け、健全育成を図った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
(R2年度)コロナ禍により、館主催事業として7月末まで実施できなかった(R3年度)コロナ禍でもあり、感染拡大防止に努めつつ、事業の実施を行った。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
新型コロナウイルス感染拡大防止しつつ、今後も、コロナ禍においても安全・安心な子どもたちの居場所づくりに努めるとともに、事業の実施内容の充実を図っていく。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	公民館合宿通学事業
R2年度 事業名	公民館合宿通学事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	様々な地域資源を活用して、放課後や週末等における子どもの活動支援や生活体験をととした地域の教育力の活性化を図る。				
	概要	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)コロナの影響により、全ての地区において合宿通学を中止とした。(R3年度~)この事業は、宿泊、飲食などの要素を伴う事業であり、今年度については、宿泊、飲食を行わない事業として、あり方を大きく変更して実施した。新型コロナウイルスの感染状況に注意しながら、今後の事業についても検討していく必要あり。				
法令根拠		実施形態	内容	地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	学校への説明会議		回	目標値	7	7	-	7	7
				実績値	7	7	-		
	校長会への説明会議		回	目標値	1	1	-	1	1
				実績値	1	1	-		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	実施公民館数		館	目標値	7	7	-	7	7
				実績値	7	7	-		
計算根拠	合宿通学事業を実施した公民館数		達成率	100	100	-			
			実数値						
			ランク	A	A	-			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により事業が実施できなかったため								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,643	1,523	1,386	1,386	1,282		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,120	1,015	992	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	7,309	1,282	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,282

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会教育活動費補助金(国1/3県1/3)	758
2		
3		
4		
5以降		
合計		758

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	1.7
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
新型コロナウイルスの感染拡大のため、宿泊や飲食を伴わない事業として実施した。

来年度へ向けて R2年度の実績
R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、R3年度は、宿泊、飲食を伴わない事業として実施したが、緊急事態宣言発令などから、実施できなかった地区もあった。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
コロナ禍であることから、感染拡大防止対策などの方法などを検討して、継続して実施していく。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度 事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____

R4年度 事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____ 0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	幼児体操ふれあい委託事業
R2年度 事業名	幼児体操ふれあい委託事業

総合戦略 体系	336	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	幼稚園・保育園児を対象に、運動の楽しさが体験できる環境づくりを行う。				
	概要	鯖江市体操協会へ委託し、市内幼稚園・保育園に運動遊びの訪問指導(鉄棒・跳び箱・マット等)を実施する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	鯖江市体操協会へ業務委託し、市内幼稚園・保育園の訪問指導を行う。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
巡回指導回数		回	目標値	155	155	160	160	160
			実績値	178	154	57		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
幼児ふれあい事業参加人数		人	目標値	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
			実績値	3,935	3,595	2,255		
計算 根拠			達成率	91.5	83.6	52.4		
			実数値					
			ランク	B	B	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、中止になることが多かったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	816	816	824	855	763	事業タイ	単独事業
	決算額	816	816	816	572		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	2,493	763	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	763

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	5

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20 B**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
市内の保育所(園)・幼稚園に通う児童を対象に、市体操協会に所属する体操指導者が、鉄棒・マット・跳び箱等の運動遊びを通じて運動の楽しさを教え、小中学校に向けた基礎体力づくりや健康づくりを行なうとともに「体操のまち鯖江」を推進する。
また、ニーズに対応するため、認定こども園を追加し、実施回数を増やす。

R2年度の実績
R2年度新型コロナウイルスの影響により、活動中止等により目標に達することができなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
鯖江市体操協会による積極的な事業展開を行っているが、将来的に少子化の影響が懸念される。また、R2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、実施回数減に伴う参加人数の減少が想定される。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
コロナ感染対策について鯖江市体操協会と情報共有を図るとともに、今後も体操を通じて、児童の基礎体力づくりや健康づくりを行うとともに「体操のまち鯖江」を推進する。

R4方向性⇒ **内容拡大**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	幼児体操ふれあい事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	763
R4年度事業名	幼児体操ふれあい事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	832

R3年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業
R2年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	青少年健全育成のための環境づくりとして、家庭や家族ふれあいの普及啓発活動等を行うことで次代を担うひとづくりを推進する。					
	概要	「地域や家庭の教育力向上」の推進に向け、親と子の絆を深め、鶴江の未来を担う子どもたちの育成事業の実施に取り組む。市民主役条例に基づき提案型市民主役事業として、光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)を行う。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠		実施 形態	内容	市民主役事業提案団体が企画、運営。		
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
広報誌、HP等でのPR回数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)応募 家族数		組	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	50	50	50		
計算 根拠	H25より「家族ふれあい写真コンテスト」(目標値100点)が廃止		達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	735	820	843	753	715	事業タイ	単独事業
	決算額	735	740	843	753		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	6	201	青少年健全育成経費	830	715	
2								
3								
4								
5以降								
合計							715	

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	80

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ 維持

今年度取組内容
提案型市民主役事業で実施している「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(R3~R5複数年提案採択事業)」等の実施により、親子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組む。

R2年度の実績
「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(H30~R2複数年提案採択事業)」を提案型市民主役事業として実施し、西山公園を会場に家族ごとにモニュメントにLEDライトを装飾し、家族の願い事を記入した短冊をつけ、10/31~12/25までの期間、中央広場付近に展示することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んだ。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
既に西山公園の冬の風物詩となっているこのイルミネーションについて、教育委員会として青少年健全育成の枠を超えて、観光的な視点も含めて実施することを所管換えを含め検討すべきか。
例年実施する事業展開の中で、コスト削減できる工夫がないかを検討する必要がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
今後も提案型市民主役事業として実施することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んでいくとともに、委託業者と事業展開について検討していく。

R4方向性⇒ 維持

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R3年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	715
R4年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	715

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	障がい者向けのスポーツ振興事業
R2年度 事業名	障がい者向けのスポーツ振興事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	障がいのある人の健康・体力・生きがいづくりに向け、身近な地域で楽しくスポーツに参加でき、障がい者の自立と社会参加を支援し、高齢者・児童も含めた社会全体のノーマライゼーションを構築する。				
	概要	障害者も健常者とともに、スポーツを通じて心身の健康や生きがいを共有できるよう、機会の提供を行い、自立と社会参加を広げていく。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	内容	市スポーツ推進委員が実施可能な計画のもと、障害者スポーツ教室を開催する。		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	教室、研修会等の実施回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	1	1	-		
	障がい者用運動器具購入数		個	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	教室、研修会等の参加人数		人	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	65	92	-		
	計算 根拠			達成率	325	460	-		
				実数値					
				ランク	A	A	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により活動中止による							

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	50	550	300	97	92		事業タイ	単独事業
	決算額	46	13	49	89			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	6	1	201	保健体育事務諸経費	3,317	92	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	92

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容
障がい者を対象としたスポーツ教室開催のノウハウについての情報収集に努め、障がい者団体の協力のもと、市スポーツ推進員によりイベントを展開し、障がい者のスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに寄与する。

R2年度の実績
新型コロナウイルスの影響により出前講座やスポーツ教室が中止となった。次年度以降のためにも、障がい者用運動器具として「ポッチャ」を購入した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R1年度実績は鯖江市社会福祉協議会事業への協力によるものである。市スポーツ推進委員の自立した企画、運営を進める。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
R2年度中に市スポーツ推進委員が障がい者スポーツ指導員資格を取得し、自主企画、運営による障がい者向けスポーツ教室等を開催する。また、コロナ感染対策を徹底し、スポーツ教室等参加者の安全を確保する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒